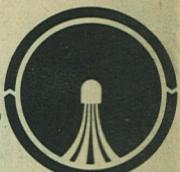
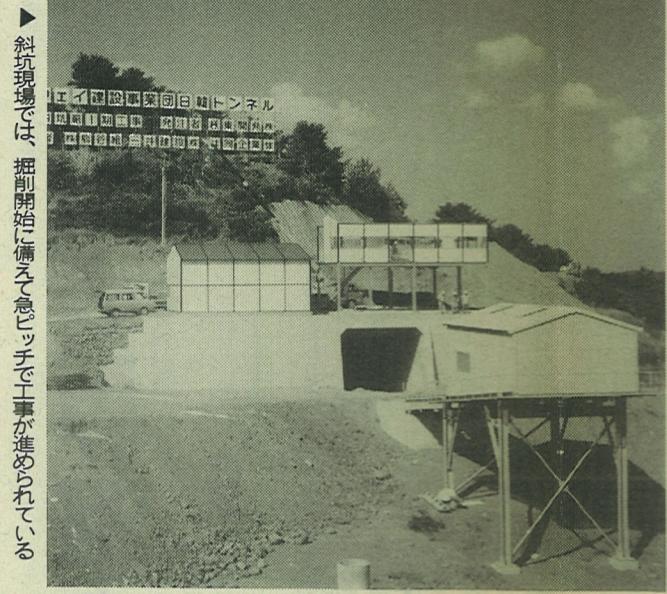


第21号



ほんきょうろ
本郷とは人類の本当の故郷（地上天国）
という意味です。従って、本郷路とは
地上天国実現のための道路です。
(題字は文鮮明師)

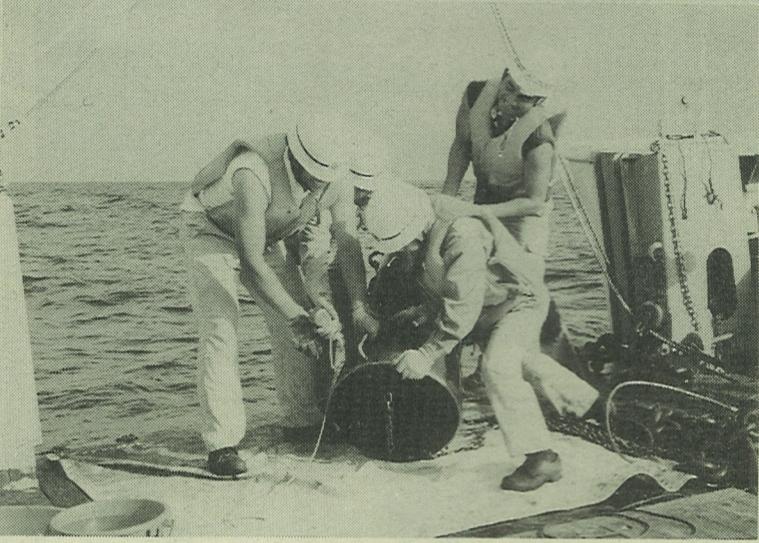


坑口工事も急ピッチ

斜坑現場では、掘削開始に備え急ピッチで工事が進められている。

掘削待つ調査斜坑

▶対馬西海域では、貝の化石も採取された

海底の岩石を掘る
海域部ドレッジング調査

昨年八月、壱岐水道で行われた第一次ドレッジングの成果を踏まえて、第二次ドレッジング調査は、七月十四日から約五十日間にわたって行われた。調査は、対馬東水道（壱岐・対馬間）と対馬の西海域で、海底の岩石採取とともに海底生物の調査も実施された。

唐津事務所所属の第三定期丸は、七月十四日、呼子港を出航して作業地点へと向かった。そして陸上からの電波をキャッチして船の位置を確認。さっそく

名護屋浦で環境調査

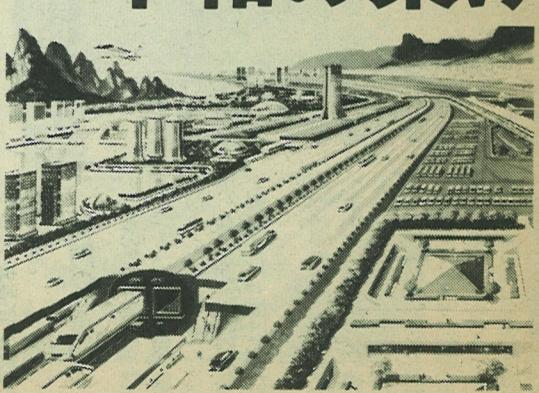
斜坑掘削の影響を調べる

現在、唐津の斜坑現場では、掘削開始を目指して着々と工事が進んでいる。現在、ボックスカルバートの上部に、コンクリートブランケット設備や各種配管工事が行われており、それが完成すれば掘削開始も間近となる。また現場は、トンネル内に稼働するスリッポンやダイナマイト装填用の孔を開けるなどの作業も本格的な掘削工事を待つだけになっている。

七月の上旬には、坑口頭上の山頂に日韓トンネルの工事看板も取りつけられて、日韓トンネル建設の現場としての景観も整い、夢のトンネル計画が現実のものになったこと、また坑口となるボックスカルバートの建設も七月中旬に終了した。更に掘削工事に付随するコンプレッサー室や冷却水槽、修理工場も八月いつまで準備に余念がない。

陸上部ボーリング
対馬北部で開始される

国際ハイウェイ建設事業団は、八月にはいり対馬北部で陸上部の深層ボーリングを開始した。八月十九日、対馬、上県郡峰山町の三根では、深さ四百八十メートルのボーリングが開始された。事業団対馬事務所では、八四年の対馬北部地表踏査の結果をもとに、今後北部で数本のボーリングを予定しており、それをもとに対馬北部地域の地質概要を明らかにしたいとしている。



平和の架け橋・国際ハイウェイプロジェクト

〔ご案内〕

ビデオ

- 「国際ハイウェイ」I (23分) [日、英語]
- 「道」国際ハイウェイ・プロジェクト (30分) [日、英語]
- 「本郷路」II (11分) [日、英語]
- 「本郷路」III (23分) [日、英語]

16 ミリ

- 「道」国際ハイウェイ・プロジェクト (30分)

パンフレット

- 「国際ハイウェイ・プロジェクト」(A4判、12頁 カラー)
- 「国際ハイウェイ基本構想」(A4判変型、40頁)
- 「INTERNATIONAL HIGHWAY PROJECT」(B5判、17頁) [英語]

機関紙

- 「本郷路」(タブロイド判4頁)

●お問い合わせ

TEL 03-496-2893

〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12
新大通ビル3号館4F
TEL 03-496-2893

THE INTERNATIONAL HIGHWAY CONSTRUCTION CORPORATION

海底地質を解明へ

昭和61年(1986年)9月1日発行

発行所 国際ハイウェイ建設事業団

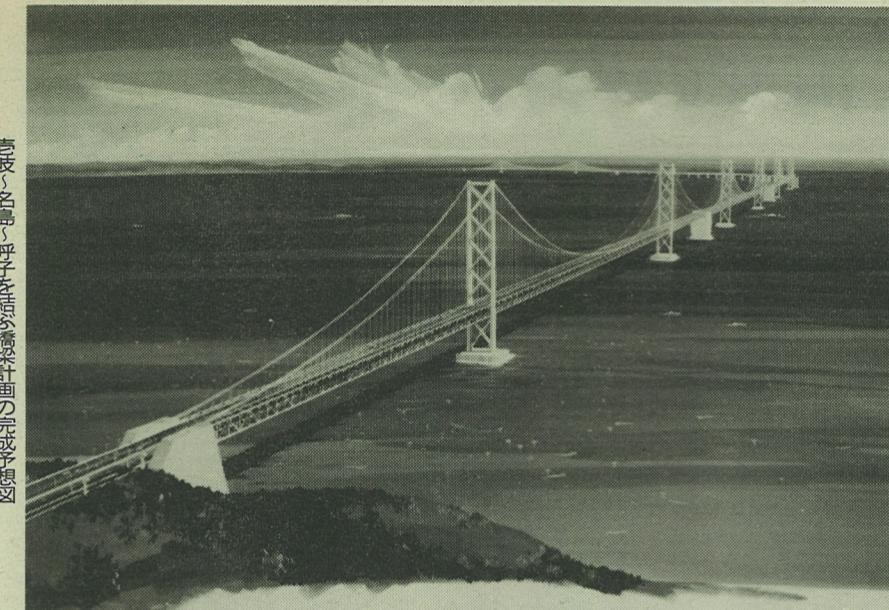
東京都渋谷区道玄坂2-10-12

新大通ビル3号館4F TEL 03(496) 2893

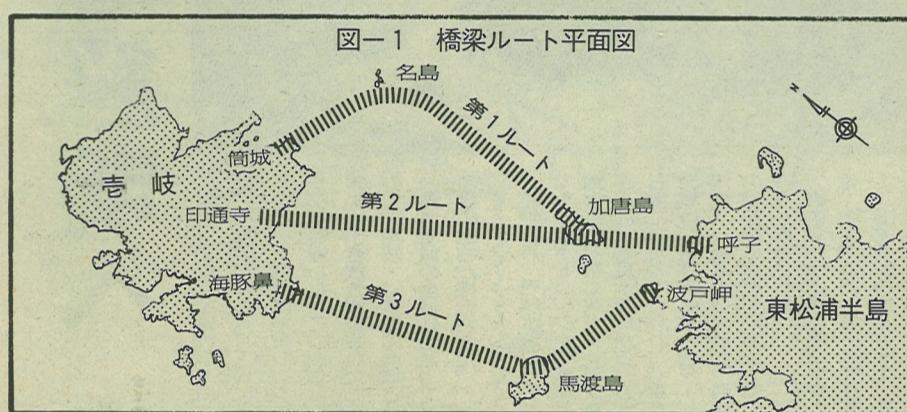
THE INTERNATIONAL HIGHWAY CONSTRUCTION CORPORATION

NOKADA
CLIP TAPE
CLIP TAPE

日韓の夢、橋で結ぶ



高崎～名島～呼子を結ぶ橋梁計画の完成予想図



第一次調査は音波探査などの間接調査である。これまでこの海域では広範囲にわたって音波探査が行われてきただが、今後は橋梁ルートに沿った詳細な探査が必要となってこよう。そして出来れば地盤の工学的性質を判定できる屈折法による弾性波探査が望ましいと考えられる。しかししながら、爆破を使うことの検査法は、魚類に衝撃を与えるので、大水深下での精度に問題があるので、調査方法の選択は慎重に行う必要がある。

第二次調査の結果明らかになつた地盤状況に基づき、第二次調査として、橋梁設置地点でボーリングを行う。そして主な地盤のサンプリングとボーリング孔を利用した各種物理試験を実施してゆく。その結果、ルートや地質図の真偽の可能性もあつたので、本数を掘削深さは段階的に増やしてゆくことが望ましい。

第二次調査の段階で、橋脚基礎の建設に必要な土質定数が決定されるが、今回の橋梁計画はこの建設によって、吊橋は風の影響で大きくする必要がある。



国際文化財団創設者

文鮮明師

第十回科学の統一に関する
講演より抜粋
今日の人類社会には各種各様の対立、闘争があります。人種間や国家間、あるいは社会間などにおいて上層階級と下層階級の対立が存在します。

欧米先進国の人口は約八億を数え、世界的には上層階級と下層階級の対立があります。これに比べ、中国やインド、その他アジア諸国には、三十億の人々が住んでおり、中流階層を形成しています。

国際ハイウェイ提唱

宗教の目的は世界救済

ところで、国際連合等の国際機関で常に扱っている問題であります。この問題を解決する最もふさわしい方法は、欧米の白人社会やアフリカ黒人社会との間で位置するアジア人を中心として、上下を団結させる

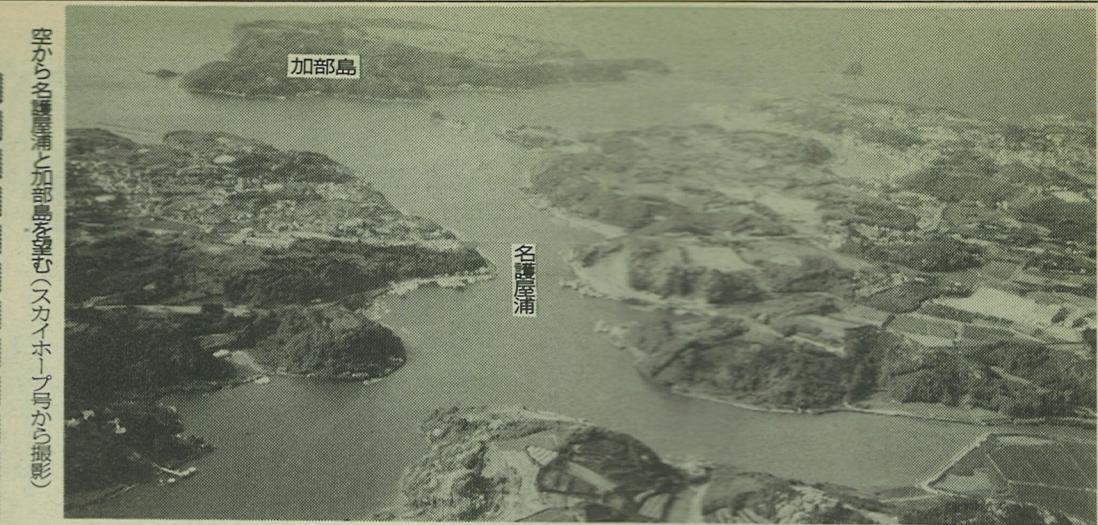
ことです。その中でも最も深刻な問題は、貧富の差異による上下の対立であります。白人を中心とした北半球の中心とした努力が経済的貧困な下層階級を形成しています。

このような経済的貧困な問題は、今日の世界の最も深刻な問題であり、いわゆる南北問題です。このように観点から見る時、上層階級の人々をどうのうにして自らの意志・地位を下げるかが問題です。

このように南北問題の解決策は、その無神論であり、神を否定した土台の上で理窟世界を建設しなくてはなりません。また現実の問題点はその無神論であり、神を否定した土台の上で理窟世界を建設しなくてはなりません。そのためには、その核心的な使命を果たす新しい宗教が必要なのです。それでは、統一教会とは一体何でしょうか。それは実に、この歴史的な使命を成就するように運命づけられた宗教なのであります。この目的のために、私は開拓の道を歩んできました。世の中のすべての人々が、その道で私に会うことを願うのです。

このように南北問題の解決策は、その無神論であり、神を否定した土台の上で理窟世界を建設しなくてはなりません。そのためには、その核心的な使命を果たす新しい宗教が必要なのです。それでは、統一教会とは一体何でしょうか。それは実に、この歴史的な使命を成就するように運命づけられた宗教なのであります。この目的のために、私は開拓の道を歩んできました。世の中のすべての人々が、その道で私に会うことを願うのです。

提唱者の言葉



空から名護屋浦と加部島を望む(スカイホープ号から撮影)



水質・生物調査

この調査は、名護屋浦の水質と生物の現況を把握して、湾内一般、淡水が海域部へ流入する動物の成長、繁殖を阻害することも考えられる。

に放生された工事排水が、湾内に及ぼす影響を推測するための基礎データとするものである。

一般的、淡水が海域部へ流入堆積によって、海藻類の孢子や付着動物の成長、繁殖を阻害することも考えられる。

塩分濃度が低下すれば、魚卵や稚仔魚の生存率が低下する。

また、懸濁粒子が魚卵や稚仔魚に付着するのに付着する。

ことによって、これらの成長が妨げられる。さらに粒子の沈降、

沈降粒子量など

が求められた。

生物調査は、

放流水が海域へ流入することによつて影響を受ける可能性のある生物に重点を

付けられた。

底質環境調査

は、湾内と周辺海域の七地点で実施されたが、

プランクトンに付着する

プランクトン

が、それぞれ四

地点で深さ方向

に三層に分けて

採取された。植

物プランクトン

は、流向・流速の調査と水温・塩分の調査および湾口での調査

は、満潮時に採

水して沈殿させ

と河川の流量調査がある。

流向・流速調査は、湾内と周

辺海域における流れの特性をつ

かむのが目的である。

今回の調

査は、植物と動物と

は、ボルマリンを加えた後、種類

に分類できる

別に分類、計測された。

生物調査は、

ミレーショーンする資料として活

用されました。

物理環境調査

は、底質環境調査

と海底の試料が

採取され、生物

の種類とその数

量および重量が

測定された。

網を築いて船で曳き、浮遊生

物を採取したが、採取した試料

は、含めた海域全体の流動特性が把

握されることになる。

そして将

来の工事排水の拡散状況をシ

ューリングする資料として活

用されました。

自然環境をまもる

名護屋浦の現況を調査



潜水夫によって、海底の生物が採取された



名護屋浦では、水流と水温・塩分の調査が行われた(対岸は加部島)

国際ハイウェイプロジェクト・日韓トンネル研究会

◎「日韓トンネル時報」(B5判)

500円(送料込)

◎「日韓トンネル研究」(B5判)

2,000円(送料別)

●振り込み先

三菱銀行渋谷支店(普)5986474

振替 東京8-143133

●お申し込み先

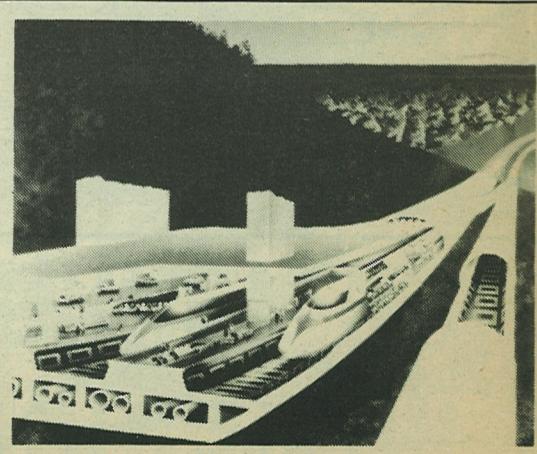
☎03-496-9211

会員募集

1. 正会員 年額 1口 5,000円

2. 貢助会員 年額 個人 1口 10,000円以上

年額 法人 1口 50,000円以上



日韓トンネル完成予想図第1案

国際ハイウェイプロジェクト
日韓トンネル研究会〒150 東京都渋谷区道玄坂2-10-12
新大宗ビル3号館930号室 電話03-496-9211(代表)



国をつなぐ道



▲ 砂漠の中を敦煌へ向かうラクダの隊商

道の歴史

国際ハイウェイへの道のり

古ペルシャ「王の道」は、統治のための道であった。そしてアレクサンدرロスは、王の道をさらに東へのばし、東西文化の融合を成し遂げたのであった。その後欧州ではローマが勃興したが、奇跡といわれる道路網の整備によって中国の保護のもとで大きく発展していった。

シルクロード

して第三は、東南アジアを迂回してインドに至る海洋ルートである。

古代における東西交渉の代表的な幹線は、何といってもシルクロードであろう。アレクサンدرロスは、ヨーロッパ人として初めて世界帝国を建設し、アジアとの直接的な交流を持つたが、東アジアや中国、インドとの交流にまではいたくなかった。その意味で、シルクロードこそ東西交流を促進させた最大の功効者たといえる。シルクロードには、主に三つのルートがある。第一は、北方のステップ地帯を横断するステップルート。第二は、中央アジアの砂漠地帯をオアシスづたいに横断するオアシスルート。そこ

ローマは絶頂期を迎えることになる。一方、東洋でも一大文化圏が生まれ、やがて砂漠の中から東西両文化圏をむすぶ道が発生した。この道はシルクロードと呼ばれ、東西をつなぐ道としたが、奇跡といわれる道路網の整備によって中国の保護のもとで大きく発展していった。

▶ 3

利益を生む道

オアシス社会は、もともと天然織物に触れたのである。この頃非常に興味深い。匈奴は紀元前四世紀から一世紀の間、蒙古高原一帯に勢力を誇った遊牧民族で、紀元前二世紀には、冒頓单于が部族の一帯に伝わり、貴族階級が競争を始めた。そこで高価な綿を賣り求めるよ

うに、自らの余裕はない。そこでオアシス社会は、他のオアシス社会との交易が次の一大動脈としてのシルクロード

によって開拓が進んでいたなかで、漢とローマとが結ばれたこの高価な綿を賣り求めるよ

うに、うになつた。そこで東西交流はそのままどが匈奴の支配下にあり、匈奴は東西貿易の利潤を独占する位置にあった。

西方から漢に出入りする隊商は、そのほとんどが匈奴の支配下にあり、匈奴は監視下に置かれてい

たため、漢としては強勢を誇る匈奴に何とか一矢を報いたいと考えていた。

紀元前一四年、漢の武帝は、匈奴によって西方へ追われた大月氏が匈奴を反撃するために、匈奴を探しているといふ話を聞きつけ、張騫は、隨行百人余を引き連れて大月氏へと出發するが、た

ちまち匈奴に捕えられて、十年余りの捕虜生活を強いられることがになつてしまつ。だが張騫は、それほど厳しくはなかったと観察され、トルキスタンの大宛(エ

ラン)へと向かったのである。

かうのだが、帰路またしても匈奴に捕えられ、再び一年余りの大宛遠征を行つて西アジア地方へと帰ることになったのである。

途中の諸國、大宛、大夏、安息などに屬するものが含まれ、これは武帝による軍事的意図を書いたものであつたが、その結果は、

大変魅力的なものである。シルクロードを、また彼らは漢の品物を大変多く引きつれた隊商を編成し、その支配権をめぐって、北方人々に西方との貿易熱をがまたられた。南フランスの地中海や、アラビアの道路整備、あるいはアレ

クサンドロスの東征によって交差が繰り返し展開されたのである。

は、ヨーロッパ人と中国人だけではなく、そぞり着いたのである。東西の報告は、大月氏へ行く

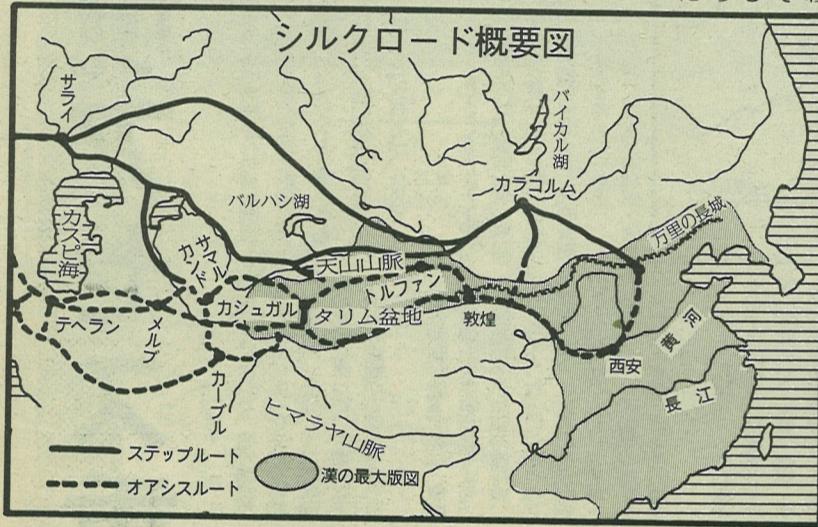
大宛遠征を行つて西アジア地方へと帰ることになったのである。パミール高原(西)は、アケメネス朝ペルシアの騎兵を描いたスラク河畔の壁画

は、ヨーロッパ人の東西の軍事的意図を書いたものであつた。パミール高原(西)は、アケメネス朝ペルシアの騎兵を描いたスラク河畔の壁画

は、ヨーロッパ人の東西の軍事的意図を書いたものであつた。パミール高原(西)は、アケメネス朝ペルシアの騎兵を描いたスラク河畔の壁画

は、ヨーロッパ人の東西の軍事的意図を書いたものであつた。パミール高原(西)は、アケメネス朝ペルシアの騎兵を描いたスラク河畔の壁画

は、ヨーロッパ人の東西の軍事的意図を書いたものであつた。パミール高原(西)は、アケメネス朝ペルシアの騎兵を描いたスラク河畔の壁画



▲ 今も残るアッピア街道

シルクロード概要図

シルクロード概要図

シルクロード概要図

シルクロード概要図

シルクロード概要図

シルクロード概要図

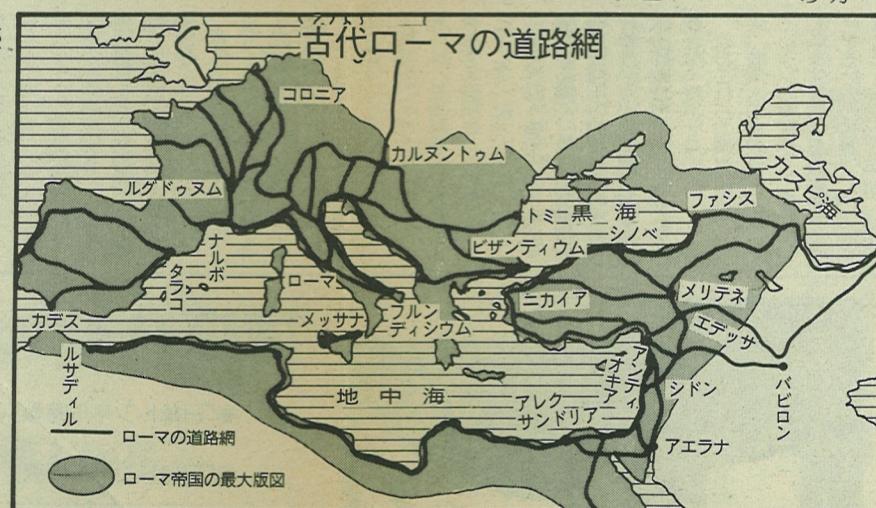
シルクロード概要図

古代ローマの道

道路網を形成

交通路の拡大

大帝国の象徴



古代ローマの道路網

古代ローマの道路網

古代ローマの道路網

の進出のメインルートとなつた。シルクロードとは三つのルートの総称であるが、一般的にステップルート。第一は、北方のステップ地帯を横断するステップルート。第二は、中央アジアの砂漠地帯をオアシスづたいに横断するオアシスルート。そこ

は第二の広大な砂漠地帯をオアシスづつに横断するオアシスルートを指している。

中国の網が、ヨーロッパ人の目に初めて触れたのは、紀元前四世紀、アレクサンدرロスの東征時であった。紀元前三七九年、アレクサンدرロスの部将アルコスは、インダス川を渡つてパンジャブ地方に侵入し、綿織物に触れたのである。この頃非常に興味深い。匈奴は紀元前四世紀から一世紀の間、蒙古高原一带に勢力を誇った遊牧民族で、紀元前二世紀には、ローマもまた、貴族階級が競争を始めた。そこで高価な綿を賣り求めるよ

うに、自分が持つていて、他のオアシス社会との交易が次の一大動脈としてのシルクロード

によって開拓が進んでいたなかで、漢とローマとが結ばれたこの高価な綿を賣り求めるよ

うに、うになつた。そこで東西交流はそのままどが匈奴の支配下にあり、匈奴は監視下に置かれてい

たため、漢としては強勢を誇る匈奴に何とか一矢を報いたいと考えていた。

紀元前一四年、漢の武帝は、匈奴によって西方へ追われた大月氏が匈奴を反撃するために、匈奴を探しているといふ話を聞きつけ、張騫は、隨行百人余を引き連れて大月氏へと出發するが、た

ちまち匈奴に捕えられて、十年余りの捕虜生活を強いられることがになつてしまつ。だが張騫は、それほど厳しくはなかったと観察され、トルキスタンの大宛(エ

ラン)へと向かったのである。

ここで張騫は歓待を受けて、目的地の大月氏へと向かったのだが、大月氏はやはや匈奴討撃に出、トルキスタンの大宛(エ

ラン)へと逃れたのである。

ここで張騫は歓待を受けて、目的地の大月氏へと向かったのだが、大月氏はやはや匈奴討撃に出、トルキスタンの大宛(エ